

# 鬱病ロッカー



[鬱病ロッカー 下载链接1](#)

著者:兒玉怜 kannibalism

出版者:武田ランダムハウスジャパン

出版时间:2009-11-12

装帧:单行本

isbn:9784270005477

きっかけは些細な出来事だった。

そんなちっぽけなことがきっかけで、

僕は壊れてしまった・・・・。

kannibalismの怜が

同じ病気で苦しむ人に贈る

初エッセイ

うつ病にされたロックボーカリストの

壮絶な闘病と再生の物語

---

薬物依存、人間不信、被害妄想、幻覚、倦怠感。

絶望のどん底で見つけたひとすじの光、それは・・・・。

「僕には自分の話をして、他人を元気付けることはできない。

だからって『頑張れよ、治るよ』と根拠のないことも絶対に言えない。

せめて僕が感じた、恐怖、苦悩。

それを語ることで、少しでも同じ悩みを抱えている人たちの孤独感が

和らげばいいと思う」(本文より引用)

人それぞれに個性があるように、

みんなそれぞれ心の病気なのだと思う。

それがたまたま

社会に合わないとか、周囲に危害があるという理由で

「うつ」や「適応障害」などというレッテルを貼るのだ。

作者紹介:

兒玉怜

1982年7月24日、東京都生まれ。ボーカリスト。

17歳からバンドを始めkannibalismとして都内で活動開始。

2001年にbaroqueを結成。2003年にはメジャー・デビュー。

日本武道館公園も行うなど、人気・実力共に注目を集めるが、2004年に解散。

2005年に再びkannivismを結成し、2006年にはavex traxからメジャー・デビュー。  
2007年、自身の適応障害によりバンドは活動停止するが、2009年に再始動。  
バンドの曲の全ての詩を手がけている。  
本作が初の書籍出版となる。

目录:

[鬱病ロッカー 下载链接1](#)

## 标签

兒玉怜

kannivism

(TAT)

怜

日本

VK

= —— ω —— =

## 评论

もう17じゃないから。

---

如果真想了解这个看似光鲜的行业，读一读怜的书吧，就知道bandman真的不好做。

またステージに立っているキミからすこし勇気を貰った。

[鬱病ロッカー 下载链接1](#)

书评

[鬱病ロッカー 下载链接1](#)